

子ども青少年局島田第一保育園エリア支援保育所
主査（保育所等に係る企画調整担当）



- ▶職種：保育職
- ▶係長歴：1年目
- ▶採用後昇任までの経歴：鳴子保育園（採用・4年）→上名古屋保育園（5年）
→梅森坂保育園（4年）→一本松保育園（2年）
→瀬古保育園（副係長3年）
- ▶昇任後経歴：令和5年4月～ 子ども青少年局
島田第一保育園エリア支援保育所主査

【現在の仕事】

地域の教育・保育施設等との連絡調整を行い、施設長や保育士等と学びあうための研修や交流会等を企画し、保育の質向上に取り組んでいます。また、地域の子育てサロン等に出かけ、育児に関する相談事業を支援したり、地域の子育て資源とつないだりしています。

子どもや子育て家庭のため、目の前のことを一生懸命に

一係長をめざしたきっかけは？

配属された園で、クラス運営等の仕事で困ったことがあったり、悩んだりしたときに、園長先生にいろいろと助けてもらう中で、保育の仕事のやりがいを感じるようになりました。そして、自分がしてもらったように、現場で困っている、悩んでいる職員を助けたいという思いがあり、係長昇任選考を受けることにしました。

一係長職として変わったことは？

係長昇任前は、配属された保育園でのクラス運営や、園内に関する仕事为主でした。現在、昇任してエリア支援保育所主査となり、受け持ち地域の子育てサロン等で子育てに関する相談を受けたり、地域型保育事業と連携する仕事に携わるようになりました。係長級になり、園長会等や区の子育て支援会議に参加することを通して、市が行っている子育て支援等の一連の流れがわかるようになり、一つ一つの事業内容に対する理解が深まりました。昇任したからこそその視点や広い視野で物事を考えて仕事をするようになりました。

一係長職になってよかったことは？

係長職になろうと思ったきっかけである職員のサポートに関しては、ビジョンをもって園内研修や打ち合わせ等を活用して計画的に取り組み始めています。エリア支援保育所主査としては、地域訪問の中で民間の教育・保育施設等の園長先生からお話を聞く機会があり、自園の中だけでは体験することができない保育や環境に触れる貴重な経験をしています。

さらに、地域の子育てサロンでは利用者さんからの相談に対してアドバイスをを行い、心配や不安を少しでも取り除く支援が喜ばれていることを実感する場面があります。また、主任児童委員と民間の教育・保育施設等との調整を行い、施設見学につなげるという主査の役割を果たせた経験は、自分のスキルアップになり、得がたいものだと感じています。ただ係長職に昇任してよいことばかりでなく、大変なことや判断に迷うこともあります。そのような場合でも、園長先生や同じ係長級の主査に相談し、協力を得ながら仕事をすすめていけるので、安心して業務に取り組んでいます。

一これから係長を目指す職員へメッセージを！

日々の業務等が忙しく、昇任選考の勉強時間を確保することは難しいかもしれませんが、メリハリをつけて、時には遊び、休み、時には集中して勉強をする。係長職への昇任についてあまり重く考えすぎず、少し肩の力を抜いてチャレンジするのもいいと思います。係長昇任選考を受けて失敗しても、私の経験上ではマイナスになることはありませんでした。もし、係長職になるかどうか迷われているのなら、ぜひ受験してみてください。



区内において打ち合わせ

ある一日の仕事

- 8:30 朝のミーティング
その日の事業確認
- 9:30 地域のサロンへ出張
地域型保育事業を訪問
- 11:00 保健センター子育て事業に参加
- 13:00 区内において研修企画の打ち合わせ
資料作成
- 15:00 「エリアだより」の進捗確認
- 16:00 Logoチャット、メール等を使用して、他のエリア支援保育主査
同士の情報共有、意見交換
- 17:15 退勤